

図書館の魅力

『Suzuka POPコンテスト』

子どもから大人まで幅広くご利用いただける憩いの場「図書館」。その魅力についてお伝えしていきます。図書館では毎年、図書館にあるおすすめ本をすてきなポップで紹介していただく「Suzuka POPコンテスト」を開催しています。

今月のテーマコーナーでは、昨年までに開催した第1回から第4回までの「Suzuka POPコンテスト」にご応募いただいたポップを、おすすめ本とともに紹介しています。

力作ぞろいのポップをご覧ください、新たなお気に入りの本との出会いをお楽しみください(展示期間: 1月5日(水)~31日(月))。



▲令和3年度 展示の様子

「Suzuka POPコンテスト」 作品募集

今年度で第5回目となる「Suzuka POPコンテスト」。1月31日(月)まで作品を募集していますので、皆さん、ぜひご応募ください。

対象 小学生以上(市内外は問いません)

募集内容 図書館にある本を紹介する手作りポップ
(はがきサイズ100mm×148mm)

応募方法 1月31日(月)まで(必着)に、直接または郵送
で図書館(〒513-0802 飯野寺家町812)へ

※詳しくは、募集要項をご覧ください。募集要項や応募用紙は、図書館または図書館ホームページで入手できます。

皆さんが「おすすめしたい」「この本大好き」という熱い気持ちをポップで表現してみてください。たくさんの個性豊かなポップをお待ちしています。



モータースポーツお宝探検隊 vol.9

西玉垣町の老舗ジャズ喫茶「どじはうす」。このお店にちょっと意外なレース用バイクの写真パネルがあります。被写体は、ホンダの革新的世界GPマシン「NR500」を駆る片山敬済選手。片山選手は1977年に350ccクラスで世界チャンピオンに輝いた名ライダーです。NR500最初期の開発テスト(1979年6月 鈴鹿サーキット)と思われる貴重なショットに直筆サインが添えられています。

1980年代に平田町駅近くで創業した「どじはうす」。片山選手をはじめ多くのトップライダーたちが集う場所でした。その後、現在の場所へ移転しようか悩んでいたオーナーママに心強いアドバイスと後押しをしてくれたのが片山選手でした。

それから約30年、常連である鈴島剛士さん(38歳 西玉垣町)がその思い出を聞き、知人から偶然譲り受けていた貴重なパネルを寄贈。お店と片山選手の素敵な「再会」が実現したというわけです。ジャズをBGMに1枚の写真が紡いだ物語です。※通常は8耐期間前後だけ店内に飾るそうですが、リクエストがあれば見せていただけます。



■中野能成(鈴鹿モータースポーツ友の会 事務局)

キーボード

あけましておめでとうございます。本年も「広報すずか」をよろしくお願ひします。

今回の特集では、本市に受け継がれる伝統産業「伊勢型紙」と「鈴鹿墨」にゆかりのある方にお集まりいただき、伝統を守りつつも、その先を見据えた新たな取り組みのほか、今後への意気込みなどについて対談していただきました。

会場となった伝統産業会館には、皆さんが持参した「新春」を感じさせる作品が並び、華やいだ雰囲気の中での対談となりました。新春といえば、型紙では文様として鶴や亀などを吉祥紋として配したり、墨については書き初めや羽根つきの際に魔よけの意味を込めて顔に塗るなど、ともに関係が深いものです。

新年のスタートに、今回の特集を通して、改めて地元の伝統産業に関心を持っていただくきっかけになればと思います。(正)